

文部科学省提出資料

- ・文部科学省提出資料
- ・文化庁の海外発信への取組
(文化庁提出資料)

平成20年11月

コンテンツ関連の学部・研究科等のある大学一覧

平成20年4月1日現在

【大学】(36大学)

設置形態	大学名	学部名	学科名	入学定員			
私立	北翔大学	生涯学習システム学部	芸術メディア学科			80	
私立	東北芸術工科大学	デザイン工学部	メディア・コンテンツデザイン学科			75	
私立	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部	情報文化学科			100	
私立	共立女子大学	文芸学部	文芸学科			350	
私立	駒澤大学	グローバル・メディア・スタディーズ学部	グローバル・メディア学科			300	
私立	駒沢女子大学	人文学部	映像コミュニケーション学科			60	
私立	玉川大学	芸術学部	メディア・アーツ学科			70	
私立	多摩美術大学	美術学部	グラフィックデザイン学科			180	
私立	デジタルハリウッド大学	デジタルコミュニケーション学部	デジタルコンテンツ学科			250	
私立	東海大学	文学部	文芸創作学科			50	
私立	東京工科大学	メディア学部	メディア学科			400	
私立	東京工科大学	工学部	メディア画像学科			100	
			芸術学部	映像学科			80
				メディアアート表現学科			100
				アニメーション学科			135
				マンガ学科			60
私立	日本大学	芸術学部	映画学科			140	
			文芸学科			120	
私立	法政大学	情報科学部	デジタルメディア学科			75	
私立	武蔵野美術大学	造形学部	映像学科			85	
私立	目白大学	社会学部	メディア表現学科			120	
私立	女子美術大学	芸術学部	メディアアート学科			100	
私立	静岡文化芸術大学	デザイン学部	メディア造形学科			30	
私立	名古屋学芸大学	メディア造形学部	映像メディア学科			100	
私立	京都学園大学	人間文化学部	メディア社会学科			60	
私立	京都嵯峨芸術大学	芸術学部	メディアデザイン学科			50	
私立	京都精華大学	芸術学部	メディア造形学科			64	
			マンガ学部	マンガ学科			96
				マンガプロデュース学科			40
				アニメーション学科			64
私立	京都造形芸術大学	芸術学部	キャラクターデザイン学科			50	
私立	立命館大学	映像学部	映像学科			150	
私立	大阪芸術大学	芸術学部	文芸学科			60	
			映像学科			130	
			キャラクター造形学科			130	
私立	大阪電気通信大学	総合情報学部	デジタルアート・アニメーション学科			100	
			デジタルゲーム学科			130	
私立	羽衣国際大学	産業社会学部	放送・メディア映像学科			70	
私立	大手前大学	メディア・芸術学部	メディア・芸術学科			200	
私立	甲南女子大学	文学部	メディア表現学科			60	
私立	神戸芸術工科大学	先端芸術学部	メディア表現学科			70	
私立	神戸松蔭女子学院大学	文学部	総合文芸学科			70	
私立	宝塚造形芸術大学	メディア・コンテンツ学部	メディア・コンテンツ学科			320	
		東京メディア・コンテンツ学部	メディア・コンテンツ学科			130	
私立	倉敷芸術科学大学	芸術学部	メディア映像学科			30	
私立	福山大学	人間文化学部	メディア情報文化学科			50	
私立	徳島文理大学	人間生活学部	メディアデザイン学科			40	
私立	福岡国際大学	国際コミュニケーション学部	デジタルメディア学科			65	
定員計						5,389	

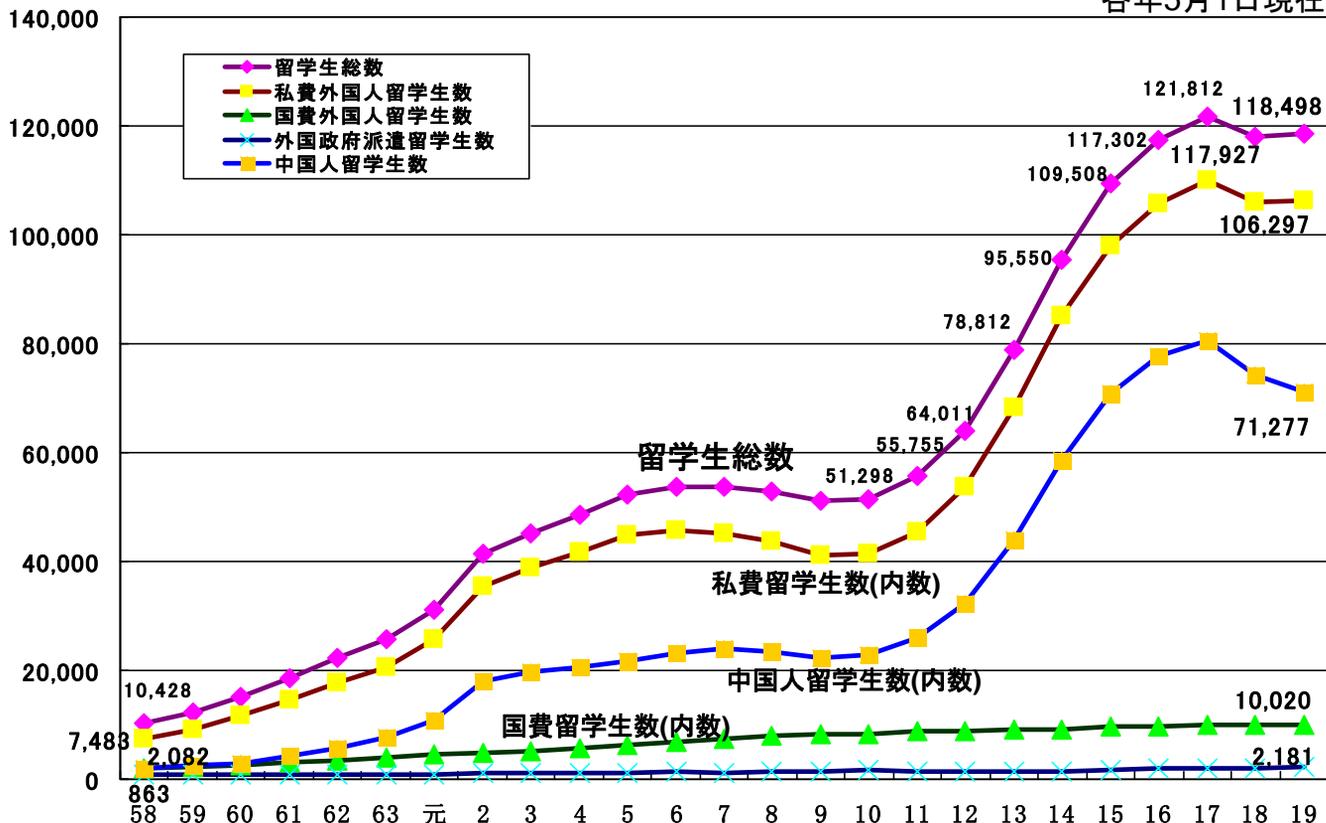
【大学院】(6大学)

設置形態	大学名	研究科名	専攻名	入学定員		
				修士課程	博士課程	専門職大学院課程
国立	東京芸術大学	映像研究科	映画専攻	32		
			メディア映像専攻	16		
			映像メディア学専攻			3
			アニメーション専攻	16		
公立	情報科学芸術大学院大学	メディア表現研究科	メディア表現専攻	20		
私立	映画専門大学院大学	映画プロデュース研究科	映画プロデュース専攻			80
私立	デジタルハリウッド大学	デジタルコンテンツ研究科	デジタルコンテンツ専攻			80
私立	名古屋学芸大学	メディア造形研究科	メディア造形専攻	5		
私立	大阪電気通信大学	総合情報学研究科	デジタルアート・アニメーション専攻	10		
私立	宝塚造形芸術大学	メディア・造形研究科	メディア・コンテンツ専攻	40		
定員計				139	3	160

※コンテンツ関連の学部・研究科等のある大学とは、学部・学科・研究科・専攻名に「コンテンツ」「メディア」「映像」「映画」「マンガ」「アニメーション」「キャラクター」「ゲーム」「文芸」という言葉を冠する大学である。

我が国の外国人留学生の受入の状況

各年5月1日現在



出身国・地域別留学生数

(文部科学省及び日本学生支援機構調べ)

平成19年5月1日現在

国・地域名	留学生数(うち短期留学生)	国・地域名	留学生数(うち短期留学生)
中国	71,277(2,070)	米国	1,805(1,252)
韓国	17,274(1,764)	インドネシア	1,596(109)
台湾	4,686(529)	ハンガリー	1,508(16)
ベトナム	2,582(80)	ネパール	1,309(13)
マレーシア	2,146(25)	その他	12,225(2,309)
タイ	2,090(201)	合計	118,498(8,368)

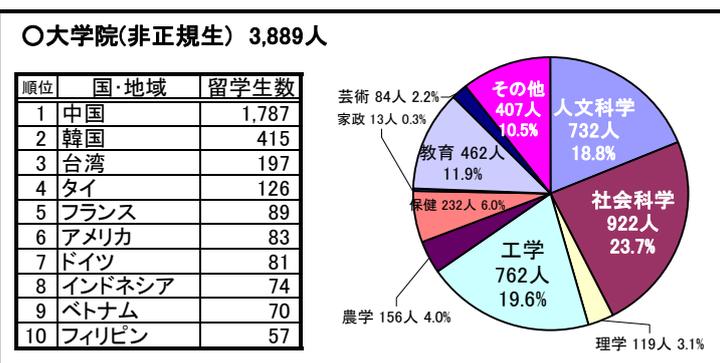
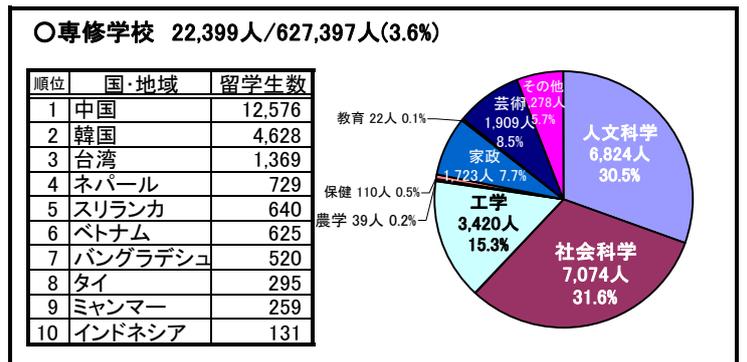
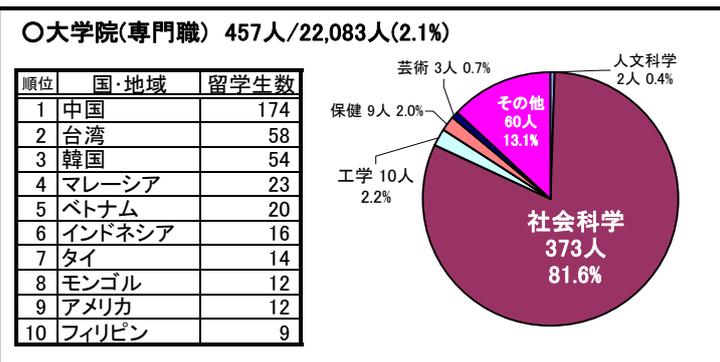
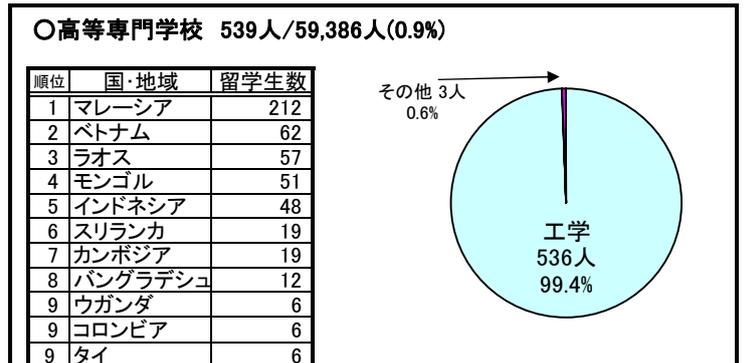
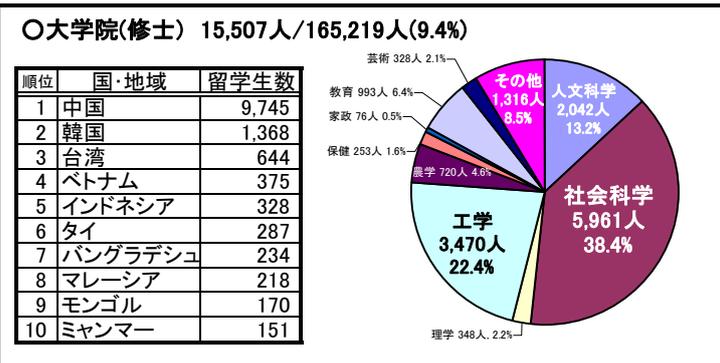
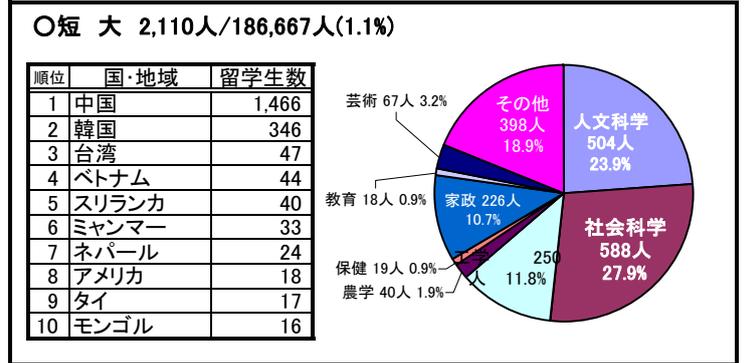
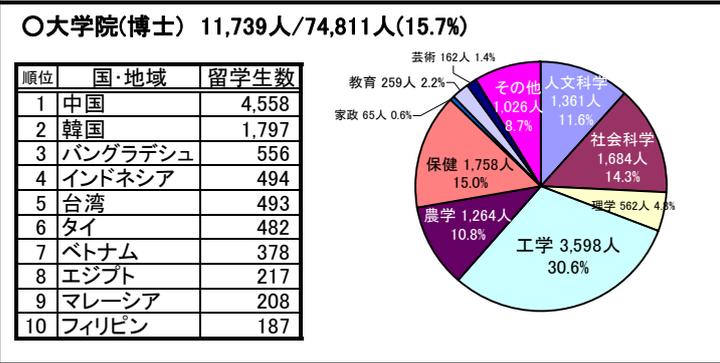
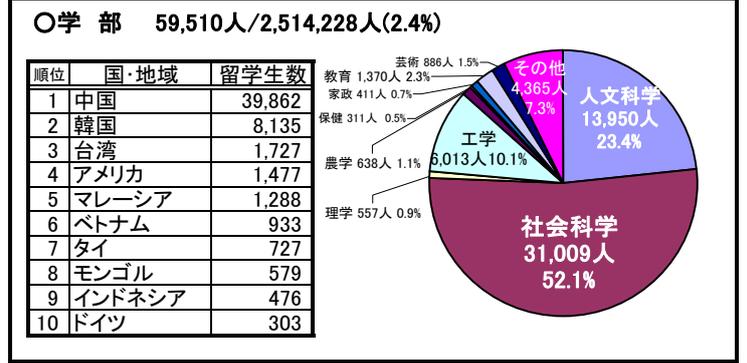
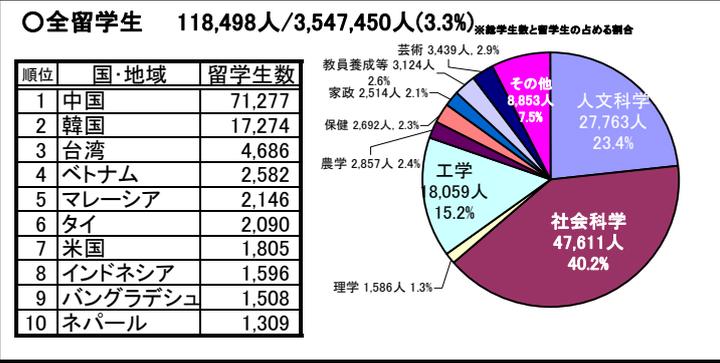
○アジア 109,495人
 うち 東アジア 94,347人
 アセアン、南西アジア 15,148人

○ヨーロッパ 3,547人
 うち 中央アジア 279人
 ○中近東 797人
 ○アフリカ 989人

○北米 2,112人
 ○中南米 1,024人
 ○大洋州 534人

学種ごとの国別・専攻分野別留学生数

平成19年度



※留学生数は平成19年5月1日現在の数値で日本学生支援機構調べ
総留学生数は平成19年5月1日現在の数値で学校基本調査

「留学生30万人計画」骨子の概要

ポイント

- ☆ 「グローバル戦略」展開の一環として2020年を目途に留学生受入れ30万人を目指す。
- ☆ 大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得。
- ☆ 関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進。

1. 日本留学への誘い

～日本留学への動機づけとワンストップサービスの展開～

- 積極的留学情報発信
- 留学相談強化
- 海外での日本語教育の充実 など

母国であらゆる留学情報の入手を可能に!

大学等
海外拠点

連携

在外公館

連携

独立行政法人
海外事務所

2. 入試・入学・入国の入り口の改善

～日本留学の円滑化～

- 大学の情報発信強化
- 渡日前入学許可の推進
- 各種手続きの渡日前決定促進
- 大学の在籍管理徹底と入国審査等の簡素化 など

母国で入学手続きを可能に!



留学

情報発信

3. 大学等のグローバル化の推進

～魅力ある大学づくり～

- 国際化拠点大学(30)の国際色豊かなキャンパスに重点的育成
- 英語のみによるコースの拡大
- ダブルディグリー、短期留学等の推進
- 大学等の専門的な組織体制の強化 など



国際色豊かなキャンパスに

4. 受入れ環境づくり

～安心して勉学に専念できる環境への取組み～

- 渡日1年以上は宿舍提供を可能に
- 国費留学生制度等の改善・活用
- 地域・企業等との交流支援・推進
- 国内の日本語教育の充実
- 留学生等への生活支援 など

宿舍 奨学金 交流支援 日本語 生活支援

連携支援

企業

連携

外務省

経済産業省

法務省

文部科学省

国土交通省

厚生労働省

総合的有機的連携

連携

地域

5. 卒業・修了後の社会の受入れの推進

～日本の社会のグローバル化～

- 産学官が連携した就職支援や起業支援
- 在留資格の明確化、在留期間の見直しの検討等
- 帰国後のフォローアップの充実 など

留学生の雇用の促進

就職

帰国

連携



コンテンツ・日本ブランド専門調査会

文化庁関係資料

平成20年11月



文化庁の海外発信への取組 (1)

メディア芸術祭など、海外へのコンテンツ紹介の取組について

■ **メディア芸術祭**

最先端のメディア芸術(マンガ・アニメ・ゲーム・デジタルアート等)のフェスティバルとして、平成9年度より毎年実施。平成19年度は国立新美術館で開催し、応募件数2000件超(うち、海外から400件超)、来場者数4万人以上。

■ **メディア芸術祭海外展**

我が国のメディア芸術の海外への発信力強化を目指して、メディア芸術祭の歴代の受賞作品を中心に、日本の最先端のメディア芸術作品を海外に紹介する展覧会を実施。平成20年度はシンガポールで開催予定。

■ **アジアにおける日本映画特集上映事業**

現代の日本の文化や社会を映し出した日本映画をアジア諸国で上映し、日本文化への理解や親しみの深化を図る。

文化庁メディア芸術祭

平成20年度予算額 335百万円

我が国のメディア芸術を振興するため、優れたメディア芸術作品を顕彰し、国民に鑑賞の機会を提供する「文化庁メディア芸術祭」を平成9年度より実施

アート部門

デジタル技術を用いて
作られたアート作品

- ・インタラクティブアート
- ・インスタレーション
- ・映像 ・静止画
- ・Web など

平成19年度[第11回]大賞

「nijuman no borei」



©Envie de Tempête Productions

エンターテインメント部門

デジタル技術を用いて
作られたエンターテインメント作品

- ・ゲーム ・遊具
- ・映像(VFX、CMなど)
- ・キャラクター ・Web など

平成19年度[第11回]大賞

「Wii Sports」



©2006 Nintendo

アニメーション部門

- ・長編アニメーション
- ・テレビアニメーション
- ・オリジナルビデオアニメーション (OVA)
- ・短編アニメーション など

平成19年度[第11回]大賞

「河童のクゥと夏休み」



©2007 木暮正夫 / 「河童のクゥと夏休み」製作委員会

マンガ部門

- ・ストーリーマンガ
- ・コママンガ (四コマ、一コマなど)
- ・オンラインマンガ
- ・自主制作マンガ など

平成19年度

[第11回]

大賞

「モリのアサガオ」



©郷田マモラ / 双葉社

< 贈賞 >

- 各部門ごとに 大賞：1作品、優秀賞：4作品、奨励賞：1作品を決定
- 賞状、トロフィー、賞金 (大賞：60万円、優秀賞：30万円、奨励賞：15万円)
- 永年の功績に対し、功労賞(1名)を顕彰



< 平成20年度[第12回]受賞賞作品展 > (予定)

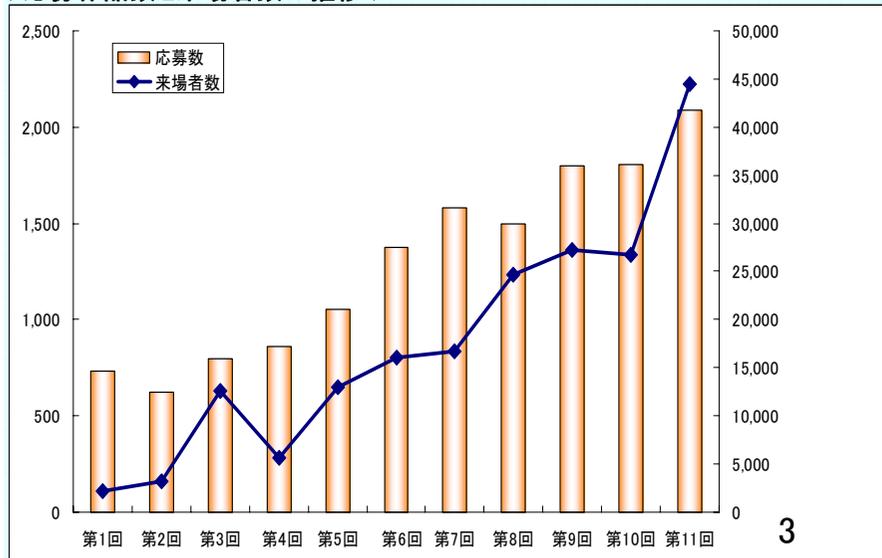
日時：平成21年2月4日(水)～2月15日(日) [火曜日休館]

会場：国立新美術館 企画展示室2E

- 受賞作品の展示・上映
- 受賞者や審査委員によるシンポジウム等も実施



< 応募作品数と来場者数の推移 >



文化庁メディア芸術祭海外展

平成20年度予算額 101百万円

背景

「eArts Festival」(2007年10月、上海)や、「SIGGRAPH ASIA」(2008年12月、シンガポール)など、**欧米のメディア芸術関連のフェスティバルがアジアへ積極的な展開**。欧米による価値観や評価基準の浸透への危惧。

日本のメディア芸術は各国において人気が高いものの、商業目的の展開が中心であり、紹介される作品群には偏りあり、日本の現代文化としてメディア芸術を体系立てて正しく知られるには至っていない。

特にシンガポールでは、平成21年度も「CGOverdrive」「アニメーションネーション」などのメディア芸術関連イベントが開催され、この分野への注目が高まっている。

趣旨・目的

日本の現代文化としてメディア芸術を体系立てて紹介することで、日本のメディア芸術に対する理解と評価を高める。

「オタク」や「クール・ジャパン」と海外からも評されるメディア芸術であるが、その次の展開を示していくことで、各国におけるイニシアティブをとっていく。

実施計画

文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、マンガ、アニメ、ゲーム、インタラクティブアート、ウェブ作品など、日本の最先端のメディア芸術作品を総合的に展示

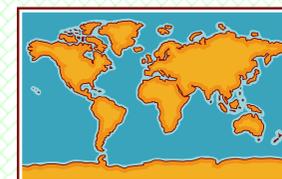
アニメーションや映像作品等の上映

日本と開催国のアーティスト等によるシンポジウム



シンガポールでの実施

アジア各国のアーティストやクリエイター等との交流を深め、日本の文化への理解を促進するとともに、我が国のメディア芸術の発展につなげる。



文化庁メディア芸術祭シンガポール展 2008

- アジアにおける文化的な融合と共生 - “GROWING TOGETHER” をテーマに開催

文化庁メディア芸術祭では、シンガポールにおいて「文化庁メディア芸術祭 シンガポール展 2008」を開催することとなりました。開催会場はシンガポール美術館（国立）・新設棟（名称：8Q sam）で、今年 8 月 15 日にオープンしたばかりのこの新設棟は、現代美術を始めとする時代に先駆けた作品の展示を目的としています。

本展覧会のテーマは、アジアにおける文化的な融合と共生を目指し、“GROWING TOGETHER” としました。アート、ゲーム、アニメ、マンガといった世界を牽引する日本の表現文化としてのメディア芸術を紹介し、アジアにおける文化的な理解を深める企画展です。

展示会場は、メディア芸術に見られる「洗練」「融合」「ものがたり」という 3 つの特徴をゾーン毎のテーマとして展示を行います。また、会期中にはシンポジウムやワークショップ、劇場用長編アニメーションの上映会などを開催します。

昨年度は、日中国交正常化 35 周年記念事業として「文化庁メディア芸術祭 上海展 2007」を開催し、日本の作品約 100 点を総合的に展示。多彩なジャンルの作品を通じて、「楽しい文化を創造する日本」を紹介し、上海の来場者だけでなくマスコミや美術関係者からも高い評価をいただきました。今年度はさらに日本の文化を広く海外に発信することを目的に、「SIGGRAPH Asia」「ISEA」の開催等で世界の注目を集めるシンガポールにおいて、開催する運びとなりました。

開催概要

名 称：文化庁メディア芸術祭 シンガポール展 2008
Japan Media Arts Festival in Singapore 2008

会 期：2008 年 11 月 21 日（金）～ 12 月 14 日（日）
* 11 月 21 日（金）はプレス説明会と内覧会のみで開催です。

会 場：シンガポール美術館 新設棟（名称「8Q sam」）
所在地：8 Queen Street, Singapore 188595
URL: <http://www.singart.com/8qsam/>

主 催：文化庁・シンガポール美術館・CG-ARTS 協会

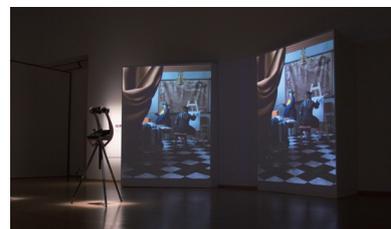
協 力：日本航空、日本通運、Conrad Centennial Singapore

後 援：在シンガポール日本大使館

入場料：8Q sam 全体の入館料として一般 3S\$（シンガポールドル）
シニアと学生は半額



©2001 NAMCO LIMITED, ALL RIGHTS RESERVED



©Takahiro Tsushima



©1997 二馬力・GND

この件に関する問合せ先

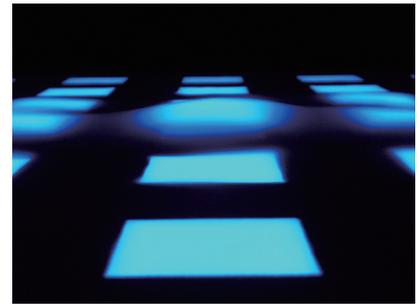
CG-ARTS 協会 広報 篠原・千葉 TEL 03-3535-3501 FAX 03-3562-4840 URL <http://plaza.bunka.go.jp/q/>
広報分室 友野・安藤（プランデックス・ジャパン） TEL 03-3564-2361 FAX 03-3564-5238

■ ゾーン1 洗練／Sophisticated Craftsmanship

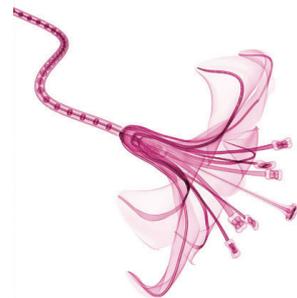
本ゾーンには、インタラクティブアート、フィギュア、静止画、CGアニメーションやアート映像、アニメーション作品を展示。それぞれの作品には、高い完成度からもたらされる洗練された感覚が備わっています。表現に対する作者の限りない追究から生まれる洗練された感覚は、形式こそ異なっていますが、どの領域にも見受けられるものです。また日本古来のクラフトマンシップが現在のメディア芸術作品にも息づいている様子が見受けられます。これらの展示作品に共通する洗練感覚を、個々の作品の奥底から見る事ができるゾーンです。

主な展示作品

- 『安重 (Anjyu)』 大場 康雄／映像
- 『Imaginary・Numbers 2006』 木本 圭子／映像
- 『愉快的な機械』 岸 啓介／フィギュア
- 『青の軌跡』 鈴木 太朗／インタラクティブ・アート
- 『BOTECH-art』 村山 誠／静止画 ほか



© 鈴木太朗



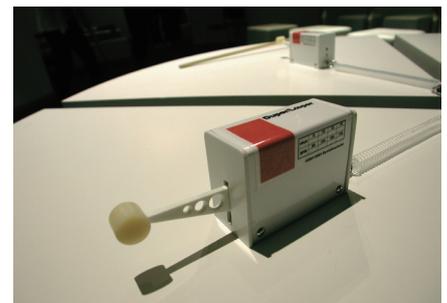
©maco

■ ゾーン2 融合／Interactive Trans-fusion

メディア芸術作品に見られる表現は、常にさまざまなジャンルを横断し、新たな融合をもたらします。本ゾーンには、さまざまなデバイスを用いたインタラクティブアートとゲーム作品が展示されており、既存の枠にとらわれない作品の力を体感することができます。アート作品におけるゲーム的娯楽性、ゲーム作品におけるインタラクティブ性や完成度の高さ、そしてアートとゲーム双方に見られる人と人とのコミュニケーションへの新しい眼差しを、実際に作品に触れて体験できるゾーンです。

主な展示作品

- 『Wii Sports』 「Wii Sports」開発チーム代表太田 敬三／ゲーム
- 『Duper/Looper』 クワクボ リョウタ／インタラクティブ・アート
- 『OLE Coordinate System』 藤木 淳／インタラクティブ・アート
- 『メディアアートの寓意』 津島 岳央／インタラクティブ・アート ほか



©KUWAKUBO Ryota



©2006 Nintendo

■ ゾーン3 ものがたり／Narrative Images

さまざまなストーリーは、多種多様なメディア表現によって語られます。ストーリーの多様性と表現の多様性は、私たちに「ものがたる」という行為のあり方について考えさせてくれます。本ゾーンには、アニメーション、ゲーム、マンガの各作品が展示されています。ストーリー性を持つ作品には、多種多様な表現形態があります。様々な技術や技法、素材を用いてストーリーが語られ、展開される様子が見られます。

主な展示作品

- 『バガボンド』 井上 雄彦 (原案：吉川 英治) /マンガ
- 『のだめカンタービレ』 二宮 知子 /マンガ
- 『カフカ 田舎医者』 山村 浩二 /アニメーション
- 『おはなしの花』 久保 亜美香 / 井上 精太 /アニメーション ほか



©Yamamura Animation / SHOCHIKU



展覧会イベント

■ シンポジウム

日本のメディア芸術とアジアの文化に関するシンポジウムを予定しています。

11月22日(土) 14:00～15:30
シンガポール美術館 本館2F 講堂

■ 上映会

アニメーション部門受賞作品の中から劇場用長編アニメーションを特別上映します。

11月28日(金) 19:30～ 「千年女優」
12月5日(金) 19:30～ 「冬の日」
12月12日(金) 19:30～ 「河童のクウと夏休み」
シンガポール美術館 本館2F 講堂
(その他の上映予定作品「もののけ姫」「マインド・ゲーム」ほか)

■ ワークショップ

「ロボットを作ろう」というテーマでワークショップを開催します。

11月22日(金)～23日(土) 10:00～16:00
シンガポール美術館 本館1F グラスホール

※その他、シーグラフ・アジアとの連携シンポジウムを予定。
※スケジュールおよび内容に関しましては、変更になる場合がありますことをご了承ください。



©2001 千年女優製作委員会

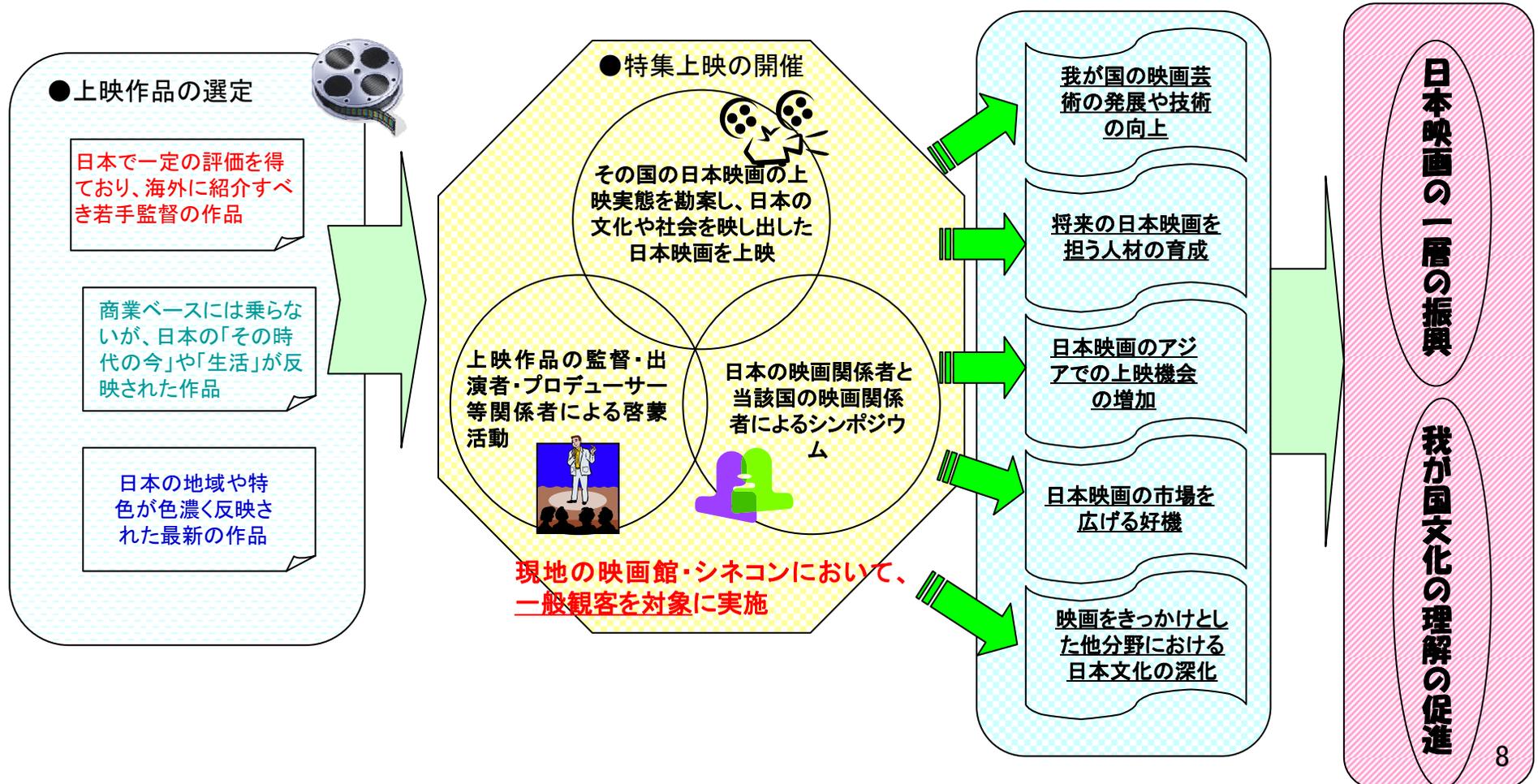


© 2007 木暮正夫 / 「河童のクウと夏休み」製作委員会

アジアにおける日本映画特集上映事業

日本の文化や社会を映し出した日本映画を特集上映することにより、日本文化への理解や親しみの深化を図るとともに、日本映画のアジア諸国での上映機会を増加し、もって我が国の映画芸術の発展に資する。 (平成20年度予算額 59百万円)

背景 ●海外での映画上映には現地語での字幕作成など多額の費用が必要であるため、アジア各国における日本映画の上映は、国際映画祭で賞を獲得したものや、その国の映画祭で招待されたものに留まり作品数が極めて限定されている。



(参考)海外映画祭への出品等支援

国際映画祭での主な受賞作品

15年度

映画祭名	作品名	監督名	受賞名
ベネチア ベルリン モスクワ ウラジオストク ロカルノ ロッテルダム	座頭市 バーバー吉野 ふくろう ホーム・スイートホーム2 女理髪師の恋 PEEP"TV"SHOW	北野 武 荻上直子 新藤兼人 栗山富夫 小林政弘 土屋 豊	銀獅子賞 青少年部門Special Mention 功労賞、最優秀女優賞 最優秀男優賞 特別大賞 国際批評家連盟賞

18年度

映画祭名	作品名	監督名	受賞名
カンヌ ベルリン ロッテルダム ミンスク シツェス・カタルニャ	アイロン 無花果の顔 14歳 人生ごっこ!? 時をかける少女	仲野裕之 桃井かおり 広末哲万 林 弘樹 細田 守	ヤング批評家賞 NETPAC賞 NETPAC賞 審査員特別賞 最優秀アニメーション賞

16年度

映画祭名	作品名	監督名	受賞名
カンヌ モントリオール ロカルノ トリノ	誰も知らない 風音 トニー滝谷 犬猫	是枝裕和 東 陽一 市川 準 井口奈巳	主演男優賞 イノベーション賞 審査員特別賞他 審査員特別賞他

19年度

映画祭名	作品名	監督名	受賞名
カンヌ ロカルノ	殞の森 愛の予感	河瀬直美 小林政弘	グランプリ 金豹賞他

17年度

映画祭名	作品名	監督名	受賞名
カンヌ ケララ トリノ モントリオール 上海 プサン	運命じゃない人 火火 美式天然 いつか読書する日 村の写真集 紀子の食卓	内田けんじ 高橋伴明 坪川拓史 緒方 明 三原光尋 園 子温	仏作家協会賞他 審査員特別賞他 グランプリ 審査員特別賞 金爵賞 観客賞他



文化庁の海外発信への取組 (2)

若手芸術家・若手クリエイターの支援のための取組について

■ 新進芸術家海外留学制度

美術、音楽、演劇などの新進芸術家を海外に派遣し、一定期間実践的な研修につとめることにより、我が国の将来の芸術文化の担い手となる人材を育成する。

■ 芸術団体人材育成支援事業

芸術団体、大学などの教育機関や、伝統文化の保持団体等が、次代の芸術界を担う創造性豊かな人材を育成するために実施する各種事業を支援する。

■ 国際芸術見本市

これからの活躍が期待される我が国の舞台芸術家・団体に、海外の劇場関係者・制作者を対象とした実演の場を提供することにより、国内外への日本の舞台芸術の発信の機会を設ける。

新進芸術家海外研修制度

世界に羽ばたく次世代を担う芸術家の養成

我が国の将来の文化芸術の振興を担う人材を育成するため、美術、音楽、舞踊、演劇、映画、舞台美術等、メディア芸術の各分野の若手芸術家等に、海外で実践的な研修に従事する機会を提供

【派遣期間】 1年(350日又は200日)、2年(700日)、3年(1050日)及び特別(80日)の4種類
【支給対象経費】 往復航空運賃・支度料・滞在費(日当・宿泊料)



昭和42年度より実施
平成19年度までに2,585名を派遣
(平成13年度までは、
芸術家在外研修事業により実施)
【派遣実績】

平成18年度	163名
平成19年度	159名
平成20年度	154名

<これまでの主な派遣者>

絹谷幸二(美術:洋画 昭和52年度)
佐藤しのぶ(音楽:声楽 昭和59年度)
諏訪内晶子(音楽:器楽 平成6年度)
森下洋子(舞踊:バレエ 昭和50年度)
野田秀樹(演劇:演出 平成4年度)
野村萬斎(演劇:狂言師 平成6年度)
崔洋一(映画:監督 平成8年度)
鴻上尚史(演劇:演出 平成9年度)
平山素子(舞踊:モダンダンス 平成13年度)

芸術団体人材育成支援事業

我が国の次世代を担う芸術家の養成及び各芸術分野の基盤整備

現代舞台芸術(音楽・舞踊・演劇),伝統芸能等(伝統芸能・伝統工芸・文化財保存技術),大衆芸能,美術,舞台美術,及び映画の部門において,芸術団体,教育機関(大学・専門学校等),及び伝統文化の保持団体等が実施する「芸術家等の育成」等の事業を支援

①人材育成・普及活動

【人材育成】

若手芸術家育成公演,新人コンクール,若手芸術家のための講習会,ワークショップ等の実施

【普及活動】

シンポジウム,上記以外の講習会・セミナー等の開催

②調査研究・情報交流

芸術家,芸術団体等に関する調査研究又は年鑑の作成,国内・海外情報の収集,提供,国内・海外作品の翻訳紹介等の事業

③伝統芸能等人材確保

学生や未経験者を対象とした体験入門研修,講習会,ワークショップなど,伝統芸能等への理解・関心・興味の向上を図り,裾野の人材確保に資する事業

国際芸術見本市(インターナショナル・ショーケース)2008

○概要

内容:我が国で実施される数多くの舞台芸術等の中から、特にこれからの活躍が期待される芸術家・団体を選びすぐり、実演(ショーケース)を通じて、国内外の舞台関係者に広く発信することを目的としたプロジェクト。

東京芸術見本市2008(東京芸術見本市実行委員会)に併せて開催。

期 日:平成20年3月5日(水)~8日(土)

会 場:恵比寿ガーデンルーム

○プログラム内容

<演劇>

1. 演劇プログラム

「60年代の演劇様式から生まれたもの」

60年代のアンガラ演劇は多くの様式を日本演劇にもたらしたが、その様式を咀嚼しつつ、同時代に新たに反映させている演劇作品を紹介する。

<ダンス>

2. 舞踊プログラム 日本の新“モダン”ダンス

世界的に日本のコンテンポラリーダンスは舞踏が最も有名な様式として流通しているが、70年代以降、舞踏を含め、ダンサー自身が生み出したオリジナルな様式を持って芸術性を高め新時代に伝える作品群も多い。その代表的なダンサーの作品を紹介する。

<音楽>

3. 音楽プログラム

パフォーマンスとしてのコンテンポラリー「ミュージック」CDなどの媒体配布活動を中心とせず、ライブ活動にこだわる「今」のミュージシャンを紹介する。



文化庁の海外発信への取組 (3)

海外への伝統文化紹介の取組について

■ 文化財海外交流展

日本の優れた文化財を諸外国に紹介することにより、我が国の歴史と文化への理解と国際親善の増進を図ることを目的として、昭和26年より世界各地で展覧会を実施。平成20年度はサンパウロ(ブラジル)で開催し、約10万人が入館。

■ 文化庁文化交流使

芸術家、文化人を一定期間「文化交流使」に指名し、世界各地に派遣することにより、内外の文化人のネットワーク形成・強化や、日本の様々な文化への理解促進を図る。

■ 国際芸術交流支援事業

我が国と外国との二国間の芸術交流や、海外の優れた芸術団体との共同制作公演などを支援する。

文化財海外交流展(Overse Exhibition of Classical Japanese Art)

(1)事業概要

日本の優れた文化財を諸外国に紹介することにより、我が国の歴史と文化に対する理解の増進と国際親善の推進に寄与することを目的として、昭和26年以降、日本古美術品の海外展を開催している。

(2)最近5年間の実績

年度	展覧会名	会場・会期	出品件数
16	日本名宝展	中華人民共和国 中国国家博物館 16. 5. 25 ~ 16. 6. 30	99件 内、国宝 6件 重文 23件 重美 2件
	日本の考古 - 曙光の時代 -	ドイツ ライプ・エンケルホルン博物館 16. 7. 24 ~ 16. 10. 24 マルチン・クプロヒウス・ハウ展示館 16. 11. 20 ~ 17. 1. 31	108件 内、国宝 5件 重文 32件
17	やきもの：日本陶磁4000年展	アメリカ合衆国 ホノルル美術館 17. 10. 13 ~ 17. 12. 11	50件 内、重文 12件 重美 1件
	18世紀京都画壇の革新者たち展	アメリカ合衆国 アジア美術館 17. 12. 3 ~ 18. 2. 26	61件 内、重文 5件 重美 1件
18	隠された顔：日本の仮面	シンガポール共和国 アジア文明博物館 18. 9. 7 ~ 18. 11. 5	仮面類：48件 内、重文 13件 重美 1件 装束類：20件
	悟りの世界：中世日本における禅宗の人物および説話画	アメリカ合衆国 ニューヨーク・ジャパ ン・ソサエティ・ギ ャラリー 19. 3. 28 ~ 19. 6. 17	全展示作品数約50件 のうち、日本からの 出品は、絵画19件 内、国宝 1件 重文 11件
19	日本陶磁の名宝	ポルトガル共和国 ソレアス・ドス・レイス 美術館(ホルトカールホルト市) 19. 9. 20 ~ 19. 12. 2	81件 内、重文 13件
20	- 色彩の開花 - 江戸の工芸	ブラジル共和国 サンパウロ州立美術館 (20. 4. 18 ~ 6. 22)	染織品、陶磁器類 166件 内国宝1件、重文8件

文化庁文化交流使事業

芸術家、文化人等、文化に携わる方々を「文化交流使」に指名、世界の人々への日本文化への理解の深化、日本と外国の文化人のネットワークの形成・強化につながる活動を支援

●海外派遣型

日本在住の芸術家、文化人が一つもしくは複数の国に一定期間滞在し、日本の文化に関する公演、講習や実演デモンストレーション等を行う。



参考：平成20年度指名者・団体

	氏名	プロフィール	派遣国/在住国
海外派遣型	梅若 猶彦	能楽師（シテ方） 静岡文化芸術大学教授	フィリピン
	小林 千寿	囲碁棋士	オーストリア他
	島田 雅彦	作家	米国、韓国
	須田 賢司	木工芸作家	ニュージーランド
	千 宗屋	茶道家	米国他
	常磐津 文字兵衛	常磐津三味線奏者・作曲家	韓国
	中川 衛	重要無形文化財「彫金」 （各個認定）保持者	米国
	福田千栄子	地歌箏曲演奏家	フィリピン、インドネシア、マレーシア
現地滞在型	上野 宏秀山	尺八奏者	シンガポール
	ブーイ 文子	茶道家	タイ

●現地滞在型

海外在住の日本文化に深い知見を持つ芸術家、文化人が、講演、講習、現地メディアへの投稿、出演等を行う。



●短期指名型（平成20年度新規）

文化庁国際芸術交流支援事業により、海外に派遣される文化・芸術団体が、海外の学校等で実演会・演奏会等を開催する。

	団体名	活動国	活動時期(予定)
短期指名型	大歌舞伎「NINAGAWA十二夜」 ロンドン公演実行委員会	英国	H21年3月
	鬼太鼓座	ブラジル	H20年12月
	太神楽曲芸協会	カンボジア	H20年12月
	舞踊集団菊の会	ブラジル	H20年9月
	財団法人日本伝統文化振興財団	インドネシア	H20年9月

国際芸術交流支援事業

【趣旨】

我が国と外国との二国間における芸術交流と海外の優れた芸術団体との共同制作公演や世界のフェスティバル等への参加を支援することにより国際芸術交流の推進を図るとともに、世界水準の芸術家の養成に資することを目的とする。

【事業内容等】

我が国の芸術団体が行う以下の事業を支援する。

対象分野：現代舞台芸術(音楽、舞踊、演劇)、伝統芸能等及び大衆芸能

・海外公演

海外フェスティバル参加等の海外公演

・二国間交流(海外公演・招へい公演)

我が国と外国との周年事業等にかかる海外公演及び外国から芸術団体を招へいして行う公演

・国際共同制作

我が国で行われる外国の芸術団体との共同制作公演

・国際フェスティバル

我が国で行われる舞台芸術のフェスティバルの実施



ENGLISH

YŌKOSO! JAPAN WEEKS 2009

Jan.20 - Feb.28



Japan Tourism Agency

Japanese Culture / Art



Japanese contemporary culture (media art) including manga and anime is becoming more and more popular worldwide, and the number of festivals and exhibition facilities related to media art is increasing in Japan as well. At the same time, Japan offers many facilities related to traditional Japanese culture, which is the very origin of our contemporary culture, throughout the country. These facilities include those where you can enjoy Japan's performing arts, "Noh" and "Kabuki", in English, as well as those that exhibit craftworks, the intricate nature and beauty of which are highly appreciated globally. Japan has been imbibing different cultures from all over the world from ancient times while pursuing its own unique development. Take a journey to experience the beauty of Japanese culture in each region.

Photo : The 11th Japan Media Arts Festival

"Cool Japan" – media arts including films, manga, and anime –

Japan Media Arts Festival

The National Art Center, Tokyo, designed by Kisho Kurokawa, is one of the leading exhibition facilities in the world. Japan Media Arts Festival Executive Committee from Agency of Cultural Affairs exhibits media artworks. The exhibits are selections of the year out of the works submitted from all over the world.

Free admission
Date: 2/4-2/15
Address: 7-22-2 Roppongi, Minato-ku, Tokyo
plaza.bunka.go.jp/english/



The National Museum of Modern Art, Tokyo, National Film Center

A vast collection of domestic and international films is preserved here. The exhibit "Soviet Film Posters in the Silent Era" and other film screenings are scheduled during the campaign period. Discount on admission fee.
Address: 3-7-6, Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo
Tel: 03-5777-8600 (Japanese)
www.momat.go.jp/FC/nc.html
www.momat.go.jp/english/nfc/index.html

Kyoto International Manga Museum

Kyoto International Manga Museum is Japan's very first general museum for Manga. Enjoy the manga culture through "reading, learning, and making" 20% discount English available
Address: Karasuma-Oike, Nakagyoku, Kyoto-shi, Kyoto
Tel: 075-254-7414
www.kyotomm.com/international/english



Traditional Japanese arts, performing arts, and crafts

Tokyo National Museum

Tokyo National Museum is one of Japan's leading museums, and it collects/exhibits a wide variety of historical cultural and artistic properties from Japan and other parts of Asia.
Admission Fee: Present the official guidebook/website coupon to receive a 100 yen discount on the permanent exhibits.
Address: 13-9, Uenoko, Taito-ku, Tokyo
Tel: 03-3822-1111
www.tnm.jp



Crafts Gallery, The National Museum of Modern Art, Tokyo

Textiles, ceramics, glass, and bamboo crafts from the Meiji period to the present times are displayed. Discount on admission fee English Available
Address: 1-1, Kitanomaru koen, Chiyoda-ku, Tokyo
Tel: 03-5770-8600 (Japanese)
www.momat.go.jp/english/craft/index.html



National Theatre of JAPAN

A wide variety of Japanese traditional and modern performing arts including "Noh" and "Kyogen", which have a history of more than 600 years, and "Bunraku" as well as "Kabuki" can be watched. Descriptions are available on the website for "Noh", "Kyogen", "Bunraku" and "Kabuki". You can reserve/purchase tickets to these National Theatres online. (However, in order to use the YJW privilege, you must reserve/purchase tickets from the ticket counter in each theatre. Ticket discounts are available only at National Bunraku Theatre and New National Theatre, Tokyo. Discount on guide service provided through headsets (only in the National Theatre) English available National Theatre (Tokyo), National Engei Hall (Tokyo), National Noh Theatre (Tokyo), National Bunraku Theatre (Osaka), National Theatre Okinawa (Okinawa), New National Theatre, Tokyo (Tokyo)
www.ntj.jac.go.jp/english/index.html (For details of address, TEL No., please see here)



World within Japan

The National Museum of Western Art

The National Museum of Western Art displays a wide variety of artworks from the end of medieval times to the beginning of the 20th century, many of which were collected by Kojiro Matsukata. The main building designed by Le Corbusier is registered on the Tentative List of World Heritage. Discount on admission fee for the regular exhibition
Address : 7-7 Ueno-koen, Taito-ku, Tokyo
Tel: 03-5777-8600 (Japanese)
www.nmwa.go.jp/en/



Ohara Museum of Art

Ohara Museum of Art is Japan's very first private western art museum established by Magosaburo Ohara. In addition to modern western artworks, the collection is further extended to various fields, exhibiting a number of western and Japanese master artists Okayama (Kurashiki) Discount on admission fee, English Available
Address: 1-1-15, Chuo, Kurashiki-shi, Okayama
Tel: 086-422-0005
www.ohara.or.jp (Japanese)



Let us introduce some of the performances scheduled in art museums, museums, and other theaters in the Kanto, Kinki, and Kyushu regions. Some facilities also offer discounts as a part of the YJW Campaign. Please visit our website for details.